

女性交流会 2025新潟大会に参加して



総務委員長 富沢 マミ

昨年に引き続き、今年の全国大会の女性交流会に参加しました。今回は新潟市内を観光しようと思いきや、早めに到着。新幹線を降りると井桁会長の姿が…会長は別の交流会に参加するとの事でしたので挨拶のみで失礼し、レンタカーで北方文化博物館や新発田城を巡りました。夜は女性交流会前夜祭と称した飲み会が催され、一年振りにお会いする方や初めてお会いする方々と美味しいお料理と地酒を堪能しながら越後の夜を楽しみました。

翌日の女性交流会へは千葉会からは海老原さんと私の2名で参加し、昨年の福井大会で私とワークショップをご一緒した新潟会の小林理恵子委員長のもと、「輪・話・和 わたしたちの未来をつなぐものー建築の世界で、女性たちが出会い、語り合い、繋がる時間ー」をテーマに開催されました。

ワークショップは各テーブル6名でグループになり自己紹介とディスカッションを行った後、プレゼンテーションを作成。持ち時間3分で合計9グループが発表を行いました。正直なところ昨年も参加している方や前夜祭でもお会いしている方々でしたので気心知れた感じがあり、私のグループはテーマをかなり脱線しフリートークで終わってしまいました。でもこの交流会は建築という男性社会を生き抜く出来る優秀な女性の集

まりですから、グループのなかで一番若手の大分会の方が上手にまとめて発表して下さいました。

駆け足気味でワークショップを行った後は、昨年の引き継ぎの際に小林委員長が宣言された“新潟の美味しいお米を食べる”というお食事会もお隣のホテルのビュッフェでセッティングされており、美味しい“佐渡の新米”とお料理と尽きない話で盛り上がりましたが、昨年同様タイムスケジュールをオーバーしながらも来年の京都大会に引き継ぎをし解散となりました。



先日、我が国初の女性総理大臣が誕生しましたが、連合会理事の清吾さんの「私が連合会で初の女性理事で、この協会はまだまだ女性の会員が少ない…」という言葉思い出しました。千葉会には3名の女性が理事になっていますが、単位会によっては女性理事も女性会員も0の会があるそうです。いきなり全国大会の交流会への参加はハードルが高いかもかもしれませんので、まずは千葉会のなかで交流会等を催し建築に携わる女性の皆さんを応援するような場をつくりたいと思います。

